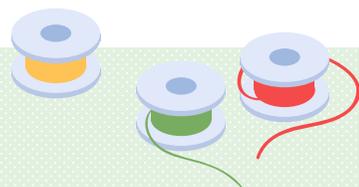


始めよう！ 働き方改革

2020年4月から大企業だけでなく、中小企業を対象にした働き方改革関連法が施行されています。しかし、実際、「何から始めればいいのか?」「どうやったらいいのか?」と戸惑う方も多いと思います。今回、組合員企業(10社)のさまざまな働き方改革の取り組みを紹介しています。

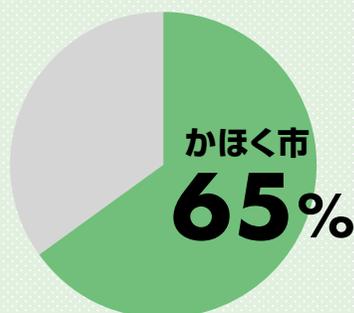
働き方改革に取り組む企業には、社員のモチベーション向上や企業の業績向上、社員満足度アップで人材定着・確保などメリットもいろいろあります。人生100年時代と言われる今、一人ひとりがイキイキと働ける、時代に対応できる企業となるために、ちょっとしたことでも、できることから始めてみませんか。

快適な暮らしに欠かせない ゴム入細幅織物の生産量日本一！



石川県は、「繊維王国いしかわ」として全国にその名が広く知られています。中でもかほく市は、ゴム入細幅織物の国内生産量65%を占める一大産地であり、アパレルやスポーツ、アウトドア、健康医療、産業資材などさまざまな用途に活用されています。ゴム入細幅織物とは、ズボンや袖口、マスクの紐などに使われているゴムの部分のことで、意外と皆さんの暮らしの身近なところで活躍しています。

ゴム入細幅織物の国内生産量



CONTENTS

組合員企業の アンケート調査・ 結果報告

P4



北陸ウェブ
株式会社

P6



株式会社
中村編織工業

P8



株式会社
シラエ織産

P10



株式会社
二口製紐

P12



黒川ウェーブ
株式会社

P14



有限会社
マルマツ繊維

P16



有限会社
ワイ・アール・ティ

P18



株式会社
小寺繊維

P20



昭繊維
株式会社

P22



マエダウェーブ
株式会社

P24

石川県 ゴム入織物工業 協同組合の紹介

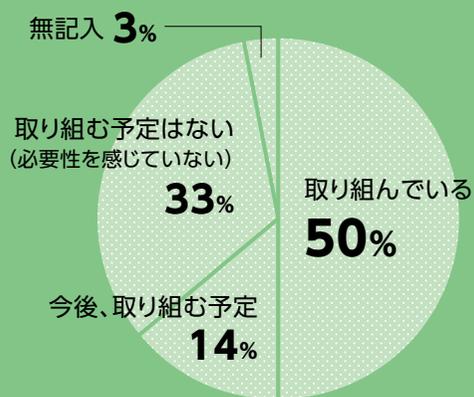
P26

石川県ゴム入織物工業協同組合の組合員企業を対象に「働き方改革の取り組み」の実態を調査しました

石川県ゴム入織物工業協同組合では、2022年11月に組合員企業の働き方改革の取り組みの現状と人材確保・人材育成の実態を把握するとともに、今後の取り組みの参考とすることを目的にアンケート調査を実施しました。対象企業は組合員企業58社で、30社から回答を得ました。

1 働き方改革への取り組み

働き方改革への取り組み状況では、「取り組んでいる」が最も多い50%と半数の組合員企業がすでに取り組んでいる。「今後、取り組む予定」の14%を合わせると6割以上が働き方改革への取り組みの重要性を認識していることが分かった。



2 働き方改革の具体的な取り組み内容 (複数回答)

1	残業の削減・有給休暇の取得の推進	47%
2	子育てや介護等と仕事の両立の推進	23%
3	従来の業務内容や社内ルールの見直し	20%
4	ITやDXの導入等で業務の効率化、生産性の向上	13%
5	柔軟な働き方 (テレワークやサテライトオフィス等を含む) の推進	10%
6	その他	3%
7	アウトソーシングの活用	0%

働き方改革の具体的な取り組み事例として、「残業の削減・有給休暇の取得の推進」を挙げる組合員企業が47%と最も多く、約半数の組合員企業が取り組んでいる。次いで「子育てや介護等と仕事の両立の推進」(23%)と「従来の業務内容や社内ルールの見直し」(20%)を挙げる組合員企業も約2割程度いた。そのほかに「IT

やDXの導入等で業務の効率化、生産性の向上」(13%)と「柔軟な働き方(テレワークやサテライトオフィス等を含む)の推進」(10%)が約1割程度で続いた。「その他」(3%)では「社員のダブルワーク容認」「フレックスタイム導入」と回答する企業もあった。

3 働き方改革を進めるうえで、重視しているもの (複数回答)

1	業務の効率化や生産性の向上	43%
2	従業員の心身、健康リスクの低減	37%
3	従業員のモチベーションの向上	30%
4	人材の定着	27%
5	円滑な人材の採用	10%
6	コンプライアンスへの対応	3%
6	企業イメージの向上	3%

働き方改革で重視するものとして、「業務の効率化や生産性の向上」(43%)と「従業員の心身、健康リスクの低減」(37%)と回答する組合員企業が約4割程度とトップ2を占める結果となった。次いで、「従業員のモチベーションの向上」(30%)と「人材の定着」(27%)を挙げる組合員企業も3割近くいた。一方で、「コンプライアンスへの対応」(3%)と「企業イメージの向上」(3%)は少数にとどまった。

4 働き方改革の取り組みでの課題 (2つまで回答)

1	取引先との納期等の調整	17%
1	人手不足や業務多忙で手が回らない	17%
3	従業員の意識改革	13%
4	資金不足	12%
5	その他	7%
6	働き方改革全般の社会や地域の理解	5%
7	ノウハウがない	3%

組合員企業の大半が下請けとなるケースが多く、「取引先との納期等の調整」(17%)を課題に挙げる企業が最も多かった。同じく同数で「人手不足や業務多忙で手が回らない」(17%)と回答しており、人手不足も深刻な問題となっていることも分かった。そのほか、「従業員の意識改革」(13%)と「資金不足」(12%)を挙げる企業も約1割いた。「その他」(7%)の中には、「ジェネレーションギャップ」を挙げるところもあった。

5 多様な人材の確保・人材育成の取り組み

女性の活躍について

「積極的に取り組んでいる」(30%)と「ある程度取り組んでいる」(23%)と合わせると半数以上となり、組合員企業が積極的に女性活躍に取り組んでいることが分かった。さらに「今後、取り組んでいく予定である」(7%)も含めると6割の組合員企業が女性の活躍に期待している。

再雇用や定年延長について

定年の延長では、約3分の1の27%の組合員企業が取り組んでいた。定年の年齢の変更について、「65歳まで」と回答する企業が7社と最も多く、「75歳まで」としている企業も1社あった。再雇用の導入は、約4分の1の23%の組合員企業がしており、年齢は「65歳まで」「70歳まで」と回答する企業(2社)が同数いた。

01 北陸ウェブ株式会社



マスク用の耳ひも生産量が日本一

創業以来、多くのブランドやメーカーから支持され、成長を続ける北陸ウェブ。同社の成長を牽引するのは、徹底した品質管理とスピード、対応力を生み出す、明るく働きやすい職場です。

北陸ウェブは、細幅ゴム入り織物の製造において全国でも最大級の規模を誇っています。

衛生資材やメディカル資材を主力とし、飴谷社長は「コロナ禍で手放せなくなったマスクの耳ひもの生産量は日本一です」と胸を張ります。医療現場で使われるマスクにも同社の耳ひもが採用され、エアシャワーを浴びて工場内に入るなど、品質には万全の注意を払っています。

織機の稼働状況をパソコンでリアルタイムに管理するなど、IT化にも取り組んでいて、「ゆくゆくは子会社を含め6つの事業所をネットワークでつなげ、連携させたい」と話します。

同社ではベトナムにも工場を持ち、ここでは有名ブランド向けのアパレル資材を生産。今後は「自動車

や家電、建築、農業などの分野で使われる産業資材を伸ばしていきたい」と意欲を燃やします。

女性が8割を占める職場は明るい

雰囲気、コミュニケーションも良好です。育休や産休の取得率は100%。有給休暇は年5日、必ず取得できるようにしっかりと管理するなど、働きやすい職場づくりを実践しています。

離職率が極めて低いのも同社の特長です。人生100年時代と言われる中、元気なうちは活躍し続けてほしいとの思いから、本人が希望すれば、定年退職後の再雇用も可能。中には親子で働いている社員もいるそうで、働きやすさの何よりの証と言えます。



北陸ウェブが作るマスク用耳ひも。柔らかく肌触りがいいと評判です



代表取締役社長
飴谷 嘉治蔵さん

Staff



若宮 祥平さん
2019年入社

さらに働きやすい職場を目指し、経営者と現場の架け橋に

2020年に開設したかほく工場で生産管理などの仕事に携わっています。開設直後から新型コロナウイルスの流行によってマスクの需要が急増し、忙しい日々が続いていますが、仕事を通じて社会に貢献できていると強く実感します。また、顧客の要望に応じて、無

事納期に製品を納められたときにも仕事のやりがいを感じます。

かほく工場では女性を中心に18人が勤務しています。工場全体を統括する立場として、いかに気持ちよく働いてもらえるかを念頭に、丁寧なコミュニケーションを心がけ

ています。

まだ入社して3年ですから、今後はもっともっと経験を積んで、工場のマネジメントスキルを磨いていきたいですし、さらに働きやすい職場環境を目指し、経営者と現場の架け橋の役割を果たしていきたいですね。

Topic

社長と社員の垣根がなくオープンな社風

会社の特長として社員の皆さんが声をそろえるのが、風通しのよい社風です。飴谷社長自身、まめに現場を回り、積極的に声を掛けます。また、以前は本人負担なしで北海道などへ社員旅行に出掛けていたとか。コロナが収束次第、復活する予定です。



北陸ウェブ株式会社

<https://hokuriku-web.co.jp>

かほく市宇気ソ-6-2
TEL. 076-283-5111
代表者/飴谷 嘉治蔵

創 業/1955(昭和30)年
資本金/1,000万円
従業員数/76名 (パート含む)





自社製品の開発に注力。若手の活躍の場に

中村編織工業は最新の織機や長く使い込んだ機械を駆使して、顧客のあらゆるオーダーに応じています。自社製品の開発やワークライフバランスに優れた職場づくりにも力を入れています。

アパレルやスポーツ、自動車、メディカル、産業資材など、細幅ゴム入り織物であれば、何でも製造できるのが中村編織工業の強みです。しかも、どんな小ロットでも引き受けるという対応力で取引先から重宝されています。

ユニークなところでは面ファスナーのB面(表面がふかふかの方)のゴムも製造可能です。靴紐の代わりに使うなど、スポーツ・メディカル分野でニーズが伸びているそうです。



代表取締役
中村 修一さん

自社商品の開発にも意欲的に取り組んでいます。例えば、自転車に乗る際にズボンのすそを伸びるB面ファスナーで止める「スツパー」、着崩れ防止に便利な「和装ベルト」は、かほく市特産品ブランドとして道の駅高松で販売され、

好評を得ています。開発を手掛けるプロジェクトチームは、若手社員が中心となって活躍しています(右ページで紹介)。



工場内では品質の向上や不良の低減に熱心に取り組んでいます

ワークライフバランスの向上にも意識的に取り組んでいます。2022年からは有給休暇を1時間単位で取れるよう就業規則を改め、ちょっとした用事や通院でも使いやすいようにしました。毎月第1・3水曜はノー残業デーを実施。家庭の事情等に応じて出勤・退社時間を1時間遅くすることも可能です。

このほか、義務化に先駆けて定年を60歳から65歳に延長。「年金が支給されるまで、安心して働いてほしい」と中村社長は話します。

Staff



総務課長／商品開発部
中村 遥さん
2007年入社

商品開発部
大島 陽子さん
2010年入社

開発は自身が成長できる場。興味引くとうれしさひとしお

中村●現在、自社商品開発のプロジェクトチームは私たちを含め、3人で活動しています。東京で開催される展示商談会を目標に、最低でも年に1つは開発しています。

大島●展示商談会で、私たちが企画した商品に興味津々で話を聞いてもらえるとうれし

くなります。ファッション業界のいろんな話が聞けるのも楽しみです。

中村●開発は既存の商品を調べたり、自社の技術に理解を深めたりと勉強とスキルアップの場にもなっています。

大島●普通の仕事は単純作

業も多いですが、一流ブランドのものも多く、いろんな織りや柄があるので、飽きが来ません。

中村●今はコロナ禍で難しいのですが、イベントがちょこちょこあるのも楽しみです。特に皆で力を合わせるレガッタ大会は燃えますね。

Topic

イベントで息抜きとコミュニケーションを

「根気のいる仕事だけに息抜きを」「社員のコミュニケーションにもつながる」との思いから、社内イベントが多く、イベント委員が年間予算の中でバーベキューや日帰り旅行を企画します。レガッタ大会や消防技術大会への参加も恒例です。



株式会社中村編織工業

<http://www.e-himo.co.jp>

かほく市大崎り3番地
TEL. 076-283-3535
代表者／中村 修一

創業／1948(昭和23)年
資本金／1,400万円
従業員数／26名(パート含む)



03 株式会社シラエ織産



働く人の要望に合わせ、勤務時間を柔軟に

技術開発や販路開拓に努め、今では非アパレル分野の売り上げが70%に達するシラエ織産。社員の目線に立った職場づくりにも熱心で、有能な若手人材の採用につながっています。

シラエ織産はパーツメーカーを標榜し、高品質で付加価値の高い繊維製品を世に送り出しています。例えば、自動車や自動販売機に組み込まれるもの、手術中にメスから指を守る絆創膏、演技中にほどけにくいバレエシューズなど、その用途は多岐にわたります。導電性繊維やガラス繊維、炭素繊維など、使用する素材も実に多彩です。

従来は海外で1本ずつ手作業により移植していたつけまつげを織機で自動生産する技術を確立するなど、研究開発にも意欲的です。



代表取締役
白江 智昭さん

働きやすい職場づくりにも注力し、その一環としてフレックスタイム制を導入しています。「働く人のライフスタイルに合わせて柔軟に働く時間を選べます」。白江社長がそう話すように、勤務条件は「日曜

を除く7～23時の中で、週3日以上、1日3時間以上」と自由度が高く、ゴルフ場のキャディーや花火師、飲食店勤務などとのダブル



織機で生産したつけまつげ。独自の技術を駆使し、機械化に成功した

ワークやトリプルワークで働く社員が6人もいます。

その結果、勤務時間は12パターンにもなっていて、複雑化する労務管理を省力化するため、勤怠管理システムを導入し、対応しています。

このほか、有給休暇の取得を促すため、給与明細に残りの取得可能日数を記載したり、iDeCoプラス(個人型確定拠出年金への事業主掛金納付制度)を導入して資産形成をサポートしたりと、社員の目線に立った取り組みに力を注いでいます。

Staff



井口 利恵さん
2021年入社

辻 裕子さん
2021年入社

宇氣工場長
山口 利治さん
2021年入社

柳澤 紗智さん
2021年入社

社員が感じる働きやすさや仕事のやりがいとは

柳澤●子どもが急に熱を出したときや行事のときなども休みやすく、働きやすいですね。USJへの慰安旅行も子どもと一緒に参加できて、楽しかったです。

井口●仕事は大変ですが、楽しくてやりがいがあります。朝早い仕事をしている夫に合

わせ、私も勤務時間は7時から16時までにしてもらい、助かっています。

辻●履歴書がいらなかったの、求人になんか応募できました。働きやすい条件がそろっているの、会社への不満はないですね。

山口●社長が私たちに信じて

らせてくれるので、意気に感じて仕事に励んでいます。宇氣工場は2年前に開設したばかりなので、これからもっと進化させていきたいです。

社長●みんないつもありがとう。うちの社員は産地でナンバーワンだと自負しています。これからもよろしく!

Topic

慰安旅行は家族同伴でもOK

家庭的な温かさでもシラエ織産の特長です。従業員の誕生日に白江社長がケーキをプレゼントするのもその一つ。子育て世代が参加しやすいようにと慰安旅行は家族同伴OKで、子どもは無料。現地ではほぼ自由行動で、食費も会社が負担します。



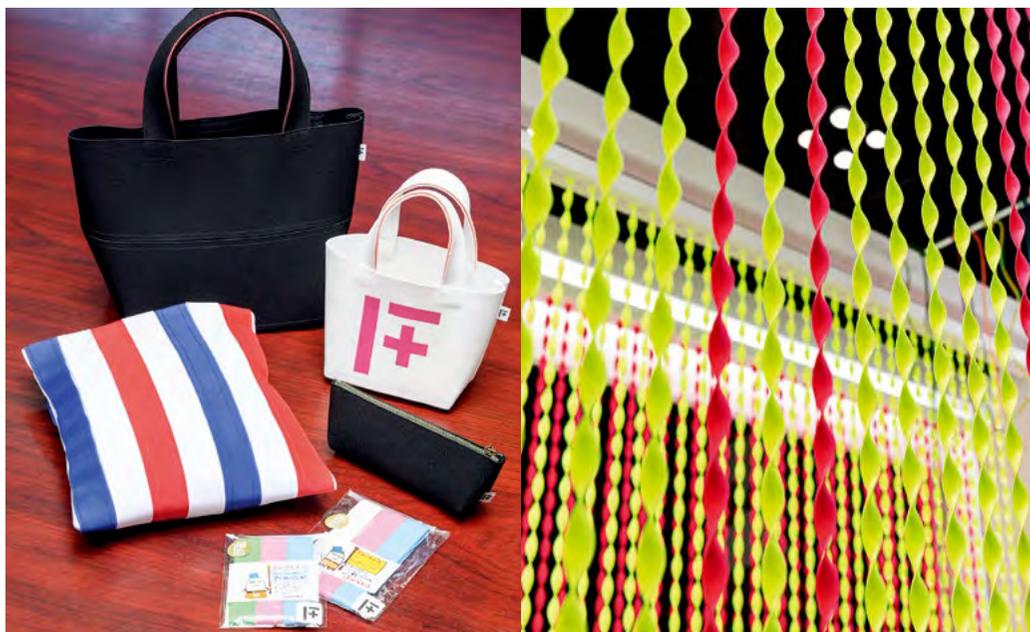
株式会社シラエ織産

<https://s-shokusan.com>

かほく市高松フ147-1
TEL. 076-281-0447
代表者/白江 智昭

創業/1981(昭和56)年
資本金/800万円
従業員数/19名(アルバイト含む)





インテリアなど、平ゴムの新たな可能性を探る

二口製紐はアパレルだけでなく、インテリアなどの異業種で用途展開を進め、平ゴムの可能性を追求しています。女性社員が中心となって自社ブランド製品の開発にも取り組んでいます。

二口製紐ではアパレル向けのほか、異業種での用途開発に積極的に取り組んでいます。例えば、平ゴムを張り巡らして展示商談会での空間演出、舞台の装飾などに用いるのもその一つです。平ゴムは小学校の運動会や保育園の遊具として使われることもあります。

主力であるアパレル用ウエストゴムでは、ストレッチ性に優れた天然ゴムの製品が4割も占めているのが特徴です。ほかにも、締め付けの強くないゴム、洗濯してもねじれにくいゴムなど、ニーズに応じた製品づくりに力を入れています。



代表取締役
二口 卓さん

また、有害物質を使用せず、環境負荷に配慮した繊維製品の国際的な安全証明である「エコテックス認証」を取得し、サステナブルな製品づくりを進めています。オーガニックコットンや廃ペットボトルに由来

する製品を定番化しているのも、そんな姿勢の現れです。

素材にとどまらず、最終製品も作ろうと、廃棄される平ゴムなど



同社の製品を使ったインスタレーションをバッグなどに再利用した自社ブランド「フタカチ」を立ち上げました。開発を担当するのは工作部の2人の女性社員で、モチベーションアップにつながっています(右ページで紹介)。

以前は5時から24時までだった工場の稼働時間を7時から22時に変更し、早朝や深夜の勤務を減らしたり、有給休暇の取得を推進したりと、働きやすい環境づくりも着実に進んでいます。

Staff



工作部
高井 幸さん
2019年入社

工作部
山口 香織さん
2019年入社

やりたいことを応援してくれる会社の雰囲気がうれしい

山口● 仕事中、廃棄される平ゴムを、アームバンドとして使っていました。着け心地がよくて、これを商品化したら売れるのではと社長に提案したのが工作部の始まりです。

高井● アームバンドやレッグバンドは道の駅でコンスタントに売れていて、すごくうれし

いです。その後、自分たちの使いたいものを作ってみようと、職場のミシンを活用してバッグやクッションなども商品化しました。

山口● アイデアが形になるのが楽しくて、これからも続けていきたいですね。

高井● やりたいことを応援し

てくれる会社の雰囲気があります。

山口● 子どもの具合が急に悪くなったときなども皆さん協力的で、気兼ねなく休める環境で、働きやすいです。

高井● 仕事上の悩みなども相談しやすい雰囲気で、気持ちよく働いています。

Topic

さまざまな SNS を駆使して情報発信に注力

フェイスブックやツイッター、インスタグラム、ティックトック、ユーチューブと二口社長自ら、多彩なSNSを駆使して情報発信。ここから作家やデザイナーと接点生まれ、コラボ製品の企画も進んでいます。



株式会社二口製紐

<http://futakuchi.jp>

かほく市高松サ49-66
TEL. 076-281-0632
代表者／二口 卓

創業／1962(昭和37)年
資本金／1,000万円
従業員数／16名



05 黒川ウェーブ株式会社



適切な先行生産で定番製品の即応体制を整備

インナーウェアの部材を中心に、豊富なアイテムのゴム入り細幅織物を製造する黒川ウェーブ。長年にわたって働きやすい職場環境を整え、多くの女性社員がものづくりの現場で活躍しています。

黒川ウェーブは、幅4～50mmのゴム入り細幅織物で100アイテム近い定番製品をラインアップしています。これらの織物は需要を予想して先行生産しており、注文が入った時に即座に対応できる体制を整えています。めまぐるしく状況が変わるビジネスの世界で、「短納期」はメーカーにとって大きな強みです。一方で、先行生産は大量に在庫を抱えるリスクもはらんでいます。

同社が即応体制を構築できるのは、培ってきた経験をもとに正確に市場を読み解くことができるからです。



代表取締役
黒川 辰也さん

加えて、主力製品をまとめた同社オリジナルのサンプル帳も役立っています。サンプル帳は10年以上前から顧客に配布し、受注量に応じて改訂を重ねており、売れ筋を見極める指標となっています。さらに、「お客様は東京や大阪など県外に

多く、サンプル帳は当社の商品を売り込む営業社員代わりでもあります」(黒川辰也社長)とのこと。役員を含めて生産に軸足を置くこと



検品では厳格な自社規格を設定し、品質の維持に目を光らせています

で、従業員一人ひとりにかかる負担を軽減しています。

同社では今後、人材の採用・育成にも力を注いでいく計画で、その一環として進めているのが作業手順書の作成です。マニュアルづくりには、黒川社長が同社に入社する前に働いていたIT業界での経験が生かされています。「システム開発では、誰でも業務を引き継げるよう、必ずまとめていました」と黒川社長は話しており、手順書を通してベテラン社員が培ってきた技術を次代に継承していく考えです。

Staff



仕上げ・検品・出荷担当
黒川 稔子さん
1995年入社

製造担当
南 奈美恵さん
1996年入社

仕上げ・出荷担当
太田 ひとみさん
2019年入社

チームワークを武器に高品質な製品づくりに注力

黒川●入社から25年以上が経ちました。長年勤められるのはやはり働きやすい職場だから。例えば、工場と聞くと雑然とした場所をイメージする人がいるかもしれませんが、当社はとてもきれいです。しっかりと整理整頓が行き届いています。

太田●チームワークのよさも感じます。私はまだ社歴が浅く、分からないことがたくさんあります。困っていると、皆さん、手を差し伸べてくれます。助け合いの文化が企業風土として根づいています。

南●品質の意識も高いですよ。先日、百貨店で有名ブラ

ンドの靴を見たのですが、使われていたゴム入り織物の品質は断然、当社製品の方がよかったです。大きな自信になりました。

黒川●長く勤め続けていける職場環境のよさは当社の魅力です。ともに、汗を流す若い人材に入社してほしいです。

Topic

いつでも、どこでもスマホでチェック

黒川ウェアでは、24時間稼働する織機の監視用カメラを設置しています。以前は不具合がないかどうか、終業後も工場を頻繁に見に行っていたそうですが、「今はスマホでいつでも、どこでも確認できます」(黒川社長)とのことで、業務改善につながっています。



黒川ウェア株式会社

かほく市高松テ8-1
TEL. 076-281-0444
代表者/黒川 辰也

創業/1957(昭和32)年
資本金/1,000万円
従業員数/6名





縦にも横にも伸びる「QFC」が成長の原動力に

レディースインナー用のゴム入り細幅織物の製造を主力とするマルマツ繊維。開発にも熱心で、縦にも横にもストレッチ性のあるオリジナル製品が会社の成長を牽引しています。

マルマツ繊維の成長を引っ張る製品の名前は「QFC」と言います。一般的なゴム入り細幅織物は、縦方向には伸びますが、横方向にはほとんど伸縮性がありません。一方で、独自の技術開発によって縦はもちろん、横にも伸びるようにしたのがQFCです。

骨盤サポートベルトなどメディカル分野のほか、介護現場や運送業界等で役立つアシストスーツなどの産業分野、バレエのトレーニングで使うコンプレッションバンドなどのスポーツ分野と、さまざまな分野に採用され、その用途はどんどん広がっています。



代表取締役
松井 宏充さん

用途開発や販路開拓を進めるほか、最終製品の開発にもチャレンジし、現在は会社全体の約2割を占めるまでになったQFCの売り上げを、ゆくゆくは倍増させたいと松井

社長は意欲をみなぎらせます。

10年ほど前から完全週休2日制を導入するほか、毎週水曜をノー残業デーにするなど、

ワークライフバランスの取れた職場づくりにも力を入れています。また、小さな子どもを育てながら、あるいは高齢の親の面倒を見ながら働く社員が柔軟に休みを取れるよう配慮しています。

松井社長は以前、県ゴム入織物工業協同組合の青年部長を務め、先進地に研修に出向いたり、他産地と交流したりとさまざまな事業を手掛けました。今も顧問として活動を見守り、「産地の活性化に貢献したい」と情熱を燃やしています。



ブラジャーの肩紐に使われるフリル付き織物。無縫製で製造が可能です

Staff



坂井 幹央さん
2015年入社

完全週休2日制なので家族との時間もたっぷり

製織工程の責任者として織機オペレーターやメンテナンス、品質管理などを担当しています。

使用する糸の数が多いと時間がかかって大変なこともあります。最後に横糸を通して製品が出来上がってくるのを見ると達成感を感じます。

忙しいときでも社長がアイスやたい焼きを差し入れてくれたり、年末にギフトを贈ってくれたり、心配りをしてくれるのがうれしいですね。

プライベートでは先日、第3子が生まれました。会社が完全週休2日制を導入しているので、家族との時間もゆっく

りと過ごせます。また、引っ越しなど家庭の事情で欠勤する際も、お互いにカバーしあえる職場環境なので休みやすいですね。

1本でも糸を間違えば製品にはなりません。これから十分に注意しながら職務に励みたいと思います。

Topic

一貫生産により納期とコストを縮減

安価な海外製品に対抗するため、他社では外注することの多いカーリングや整経、染色といった工程をすべて内製化。社内に一貫生産体制を整備することで、納期の短縮、コスト削減を実現し、他社との差別化につなげています。写真は染色機。



有限会社マルマツ繊維

<https://marumatsu-seni.jp>

かほく市木津口74-10
TEL. 076-285-0331
代表者／松井 宏充

創業／1960(昭和35)年
資本金／500万円
従業員数／9名 (パート含む)





色とりどりの次世代水引に無限の可能性

ワイ・アール・ティのショールームにはカラフルな糸のようなものがずらり。実はこれ、同社が一般消費者向けに独自に開発した手芸材料で、右肩上がりに販売量を伸ばしています。

ワイ・アール・ティはインナー用・アウター用のゴム入り細幅織物をメインに、生地の上に凸凹を付けて絵柄を浮かび上がらせるエンボス加工、オリジナル素材「ShuCODE(趣コード)」の3本柱で事業を展開しています。

中でも2021年から22年にかけて、売り上げを倍増させたのが次世代水引と呼ばれている『ShuCODE』です。さまざまな形を作り、保持することが可能で、手芸材料として使われます。約6年前に開発し、今では187色までカラーバリエーションが増えました。



専務取締役
北川 遼典さん

主にオンラインショップを通じて、一般消費者向けに販売しており、順調に売り上げを伸ばしています。ヨーロッパを中心に外国から注文が入ることもあります。地元の

小学校では毎年、卒業生が自身の胸元を飾るコサージュをShuCODEで自作しています。



3年後の事業承継を予定する北川

ShuCODEはアイデア次第でさまざまな形状を作ることができます

遼典専務は「ShuCODEにはまだまだ伸び代がある。地元が好きなので、産地や業界を盛り上げていきたい」と意欲を燃やしています。

社内では、コミュニケーションを大切にしている、忙しくない日はみんなでゆっくりランチに出掛けることもあるとか。年末の掃除を終えた後、一年の感謝を込めて会社から従業員に地元の特産品を手渡してねぎらいの言葉を掛けるのも恒例となっています。

Staff



広田 美和子さん
2014年入社

浅野 麻衣さん
2020年入社

協力的な職場の雰囲気がありがたい

広田●ゴム紐やテープを輪の形にするミシンを担当しています。ミシンは自動なので、材料のセットや検品、出来上がったものの袋詰めなどが私の仕事です。

浅野●私はいろんなゴム製品を決められた長さに機械で巻きながら汚れや傷を見て、

必要に応じてケアする仕事をしています。

広田●職場はとても働きやすいです。母親を病院に連れて行くために休みをもらう際も、社長は嫌な顔一つせず快くOKしてくれて、休みやすくて、とても助かっています。

浅野●子どもの急な発熱や

学校の行事のときも「行ってあげて」と職場の皆さんが協力的で、ありがたいですね。

広田●これからはもっと効率よく仕事できるようにやり方を工夫したいです。

浅野●見落としなどが無いよう、いつまでも初心を忘れず、頑張っていきたいです。

Topic

アクセサリーなどが観光客に人気

手芸材料として販売するだけでなく、同社でもShuCODEを使ってアクセサリーやキーホルダー、髪留め、かんざし、ランプシェードといった商品を作製。「NOAH(ノア)」のブランド名で販売し、金沢駅や道の駅などで観光客から好評を得ています。



有限会社ワイ・アール・ティ

<https://www.shucode.com>

かほく市遠塚ハ1番地17

TEL. 076-285-1985

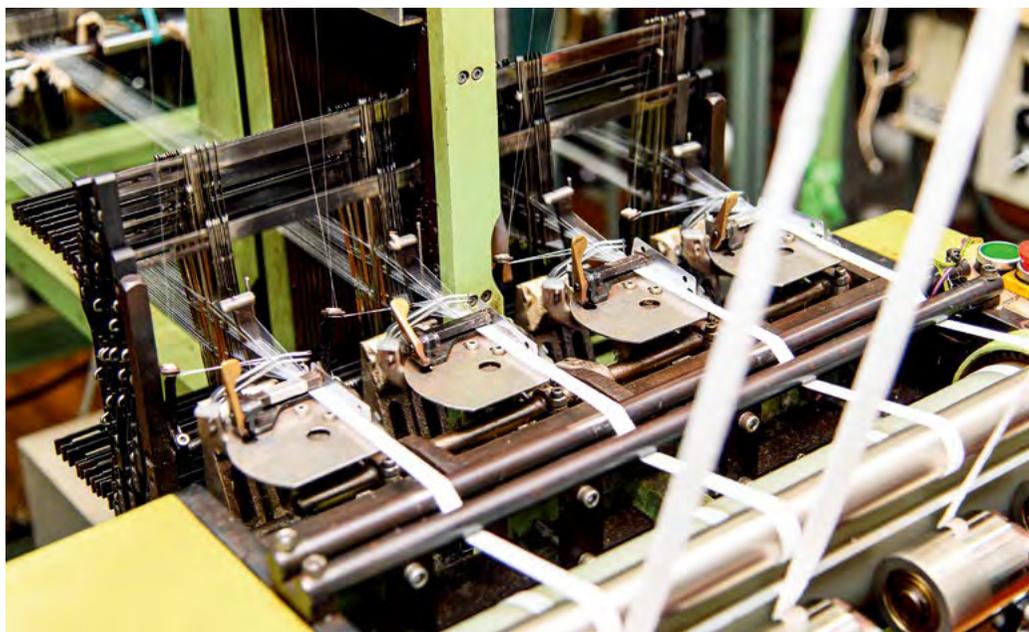
代表者/北川 靖幸

設立/1996(平成8)年

資本金/600万円

従業員数/8名(パート含む)





全国的にも珍しい織機を駆使。付加価値の高いものづくり

高い技術力と万全の品質管理で大手下着メーカーなどから信頼を集める小寺繊維。付加価値の高いものづくりを手掛け、これまでゴム入り織物が使われていなかった分野へも販路を広げています。

小寺繊維の強みは技術力にあります。その象徴とも言えるのが「ツインニードルジャガード織機」です。この織機は通常1本の緯糸(よこいと)を2本使うのが特徴です。ミサンガのように立体的な織物や引っ張って伸ばすと下から文字や模様が現れる織物など、付加価値の高い製品を作ることが可能です。石川県内でこの織機を保有するのは同社のみ。全国を見渡しても極めて希少な設備です。

「この織機は技術が伴わなければ扱えません」。小寺社長がそう胸を張るように、厳しい基準をしっかりとクリアできるような機械を調整するスキルが持ち味。また、織り上げた製品を検品の専門家が毎日チェックし、その履歴を記録・管理するなど、品質管理にも万全を期します。こうした姿勢が大



代表取締役
小寺 正樹さん

手下着メーカーなどからの継続的な受注につながっているのです。

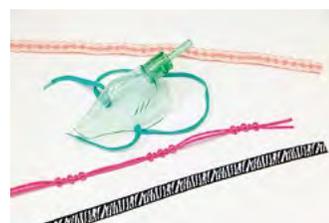
強みを武器に新しい仕事の受注に

も力を入れていま

す。この際、社員のアイデアが製品化されるケースも

あります。例えば、同社が製造する酸素マスクの耳ひもは、すれて耳の後ろが炎症を起こしてしまうという祖母の悩みをヒントに社員が考案したものです。

産休・育休がきちんと取得できて、有給休暇も取りやすい職場環境が整備されているほか、毎日ミーティングを開いて、部署間のコミュニケーションを促進。企業の社会的責任を果たしたいとの思いから、障害者を1人雇用している点も温かな社風のとえ言えます。



酸素マスク用の耳ひもやミサンガなど、小寺繊維が手掛けた製品

Staff



検査仕上課検品担当
徳丸 郁美さん
2006年入社

どんな小さな傷も見逃さないよう気を付けています

出来上がってきた製品の検査を担当しています。検査は目視で行っていて、不具合があれば色の付いたテープを貼るなど、次工程に流れないように目印を付けます。

一口に不具合と言ってもいろいろですが、日頃から、どんな小さな傷も見逃さないよう

気を付けています。不良の出荷を未然に防ぎ、きれいな製品だけをお客様にお渡しできたときにはやりがいを感じますね。

社内では毎日ミーティングを開いて、その日の予定を確認しあうので、段取りが組みやすく、コミュニケーションも

良好です。

子どもの看護が必要な時や学校行事がある日などにはきちんとお休みをいただけるので、助かっています。

これからも安心して使っていただけるよう品質に優れた製品づくりに向け、頑張りたいと思っています。

Topic

データベースを構築し、省力化と品質アップ

小寺繊維では、使用する糸や在庫、加工条件、設計表、損益シミュレーションなどを一元管理するデータベースを2001年に構築しました。省力化につなげると同時に、過去のデータを参照しながら機械を設定することで、より精度の高いものづくりを実現しています。



株式会社小寺繊維

かほく市木津イ13
TEL. 076-285-0462
代表者／小寺 正樹

創業／1961(昭和36)年
資本金／1,000万円
従業員数／15名 (パート含む)





自動車用資材などに使われる幅が広めの製品を生産

比較的幅の広い織物を生産できる織機を保有し、自動車用資材などを生産する昭繊維。家庭の事情などに合わせて柔軟な働き方ができるほか、社長の心遣いが従業員のモチベーションを引き出しています。

ゴム入り細幅織物の産地であるかほく市やその周辺では、幅10cm以下の製品を作る会社がたくさんあります。そんな中、昭繊維ではより幅の広い織物に対応できる織機を8台保有し、最大で幅30cmまでの製品の生産を可能としています。

幅が広めの織物の中でも売り上げの多くを占めるのが自動車用資材として使われる織物です。車種によって規格が違うため、数種類のアイテムを生産し、同社の売り上げの柱となっています。



代表取締役
おの たかひろ
御館 隆博さん

コルセットや腰痛帯も主力の一つです。中でも大手下着メーカーから受注して生産する骨盤ベルトは、産前・産後にママの骨盤をしっかりサポートしてくれるとあってロングセラーとなっています。

「主婦やシニア層が多いので、基

本的に残業がないよう仕事をやりくりしています」と話すのは御館社長です。「従業員の要望にはできるだけ応え



昭繊維の製品。幅が広めの製品を織り、産地で独自色を出しています

などで有給休暇を取得する際の申請は当日朝でもOK。年度末に未消化分があれば、取得するよう促します。

従業員の誕生日や従業員の子どもが小学校などに入学する際にはお祝い金を支給。夏と冬にはパートにも寸志を手渡します。夏には精がつくようにと近江町市場の水産会社のウナギの蒲焼を、暮れの仕事納めの日には料理の負担が少しでも減ればとラーメンや惣菜を贈ります。こうした気配りもES(従業員満足度)向上につながっています。

Staff



櫻井 奈津美さん
2016年入社

吉田 千恵さん
2016年入社

子どもの成長に合わせて勤務時間を延長

吉田●私たちの仕事は検品です。任された製品を期日までに納品できると、責任を果たした充実感を感じます。

櫻井●入社した頃に比べ、作業が早くなり、ミスも減りました。自身の成長を感じられるのが仕事の喜びです。

吉田●分からないことがあ

れば先輩が優しく教えてくれて、何でも相談しやすいので働きやすいです。

櫻井●有給休暇も取得しやすく、気持ちよく休ませてもらえるので、その分、出勤時に頑張ろうと思えます。

吉田●子どもが小さい頃は短時間パートで、成長に合わ

せて長時間パートに切り替えました。柔軟に働く時間を選べるのもうれしいですね。

櫻井●夏のウナギはすごくおいしくて毎年楽しみです。

吉田●子どもの入学祝いなど、心遣いにも感謝しています。

二人●これからも長く働いていきたいですね。

Topic

織物の巻取作業を自動化して負担を軽減

出来上がった製品の中には、お客様が次工程で扱いやすいようビンに巻いて納品するものもあります。以前はすべて手作業で巻いていましたが、巻く量が長くなるほど女性の力では難しくなるため、モーターを付けて自動化。作業が大幅に省力化されました。



昭繊維株式会社

かほく市横山タ159の2

TEL. 076-285-0046

代表者／御館 隆博

創業／1937(昭和12)年

資本金／1,000万円

従業員数／6名（パート含む）





看板商品の「オリタッチ®」が業界内で高い評価

マエダウェーブの看板商品は「オリタッチ®」と名付けられた伸びるB面ファスナーです。技術力と品質が高く評価されており、主に医療現場でベルトなどとして使われ、健康づくりを支えています。

面ファスナーとは、フック状(A面)のシートとループ状(B面)のシートを貼り合わせて使うもので、接着面は引っ張るだけで簡単に外すことができます。衣類やバッグ、靴など、私たちの身の回りで数多く使われています。

オリタッチの特長はほかの面ファスナーに比べ、柔らかく肌触りがよいことです。ループ状の部分が傷みにくく、耐久性は抜群。しかもゴム紐を織り込んでいるので伸縮自在です。10色のカラーバリエーションを展開し、20mmから200mmまで、さまざまな幅のものを生産可能です。

高い技術力と品質が評価され、メーカーとともに企画、開発から手掛けることもしばしば。多くは医療用として使われ、売り上げは全体の50%以上を占めています。



代表取締役
前多 恒義さん

前多社長は「オリタッチは業界では有名なのですが、一般の消費者にはまだまだ知られていません。今後は協力企業のECサイトを活用するなどして、BtoCの分野にも力を入れていきたい」と意欲を燃やします。

働きやすい職場づくりに向けては、社員からの要望を取り入れ、2021年から完全週休2日制を導入するなど、ワークライフバランスの向上に努めています。

また、年に数回は会社負担で食事会を催すなどしており、前多社長は「もっとコミュニケーションを活発化させたい」と話し、社員が生き生きと働ける環境づくりにも目配りを忘れません。



展示商談会に積極的に出店し、技術力や品質をPRしています

Staff



香林 健太郎さん
2009年入社

自社製品を世界中に流行させたい

製品の仕上げや反巻き、箱詰めを担当しています。先代社長と私の父が知り合いで、「ぜひ働きに来てほしい」と声を掛けてもらい、入社しました。

いろいろな工程を経て、出来上がった製品がお客様に届けられるので、自分もその一

端を担っているという自負と使命感を持って、日々、仕事に励んでいます。

当社は、社員みんなが真面目に仕事に取り組んでいますし、分からないことがあっても何でも相談できるアットホームな雰囲気職場です。

2021年からは完全週休2

日制が導入され、プライベートの時間をより充実させることができるようになりました。

「オリタッチ」や新たに開発した商品が、日本中、そして世界中で流行するのが夢です。メイド・イン・ジャパンの優れた商品を世界に広められるよう、これからも頑張ります。

Topic

他社との差別化に向け、広幅織物に注力

マエダウェーブでは、幅が150mmから300mmの広幅織物用の織機を約10台保有しています。広幅織物を手掛ける会社は少ないため、他社との差別化につながり、前多社長は「展示会などを通じてアピールし、売り上げを伸ばしていきたい」と話しています。



マエダウェーブ株式会社

<http://www.maedaweave.com>

かほく市長柄町ソ38-2

TEL. 076-281-0916

代表者／前多 恒義

創業／1959(昭和34)年

資本金／1,000万円

従業員数／7名



暮らしをもっと快適に もっと楽しくする ゴム入細幅織物の可能性に ご期待ください

石川県ゴム入織物工業協同組合では、1961(昭和36)年の設立以来、組合員企業とともに他産地との交流も深めながら消費者ニーズやトレンドの把握に努め、ゴム入細幅織物の魅力のPRにも力を注いできました。長年、職人が培ってきた経験や確かな技術力を生かしながら、時代が求めるモノづくりに取り組む組合員企業をサポートしております。具体的には、各種資材・材料の販売、技術指導、各種セミナーの実施、イベントの出展など組合員企業の販路拡大や商品開発にも関わっております。

今後もさまざまな業界のお客様のニーズや困り事にも、1社単独での対応が難しくても、組合内の企業が協力すれば、きっと何かお力になれるヒントが見つかるはずと思っております。これからも暮らしをもっと快適に、もっと楽しくできるゴム入細幅織物の可能性にご期待ください。



展示会



展示会



勉強会



他産地との交流会

石川県ゴム入織物工業協同組合

働き方改革特設サイトもご覧ください

なぜ今、働き方改革が必要なのか、そもそも働き方改革ってなに?といった素朴な疑問もきっと解決する情報を掲載しています。御社でも今から始められるヒントが見つかるかもしれません。



トップページの「始めよう!働き方改革」のバナーをクリックしてください



お問い合わせ

石川県ゴム入織物工業協同組合

〒929-1177 石川県かほく市白尾口44-1

TEL 076-283-1154

FAX 076-283-1156

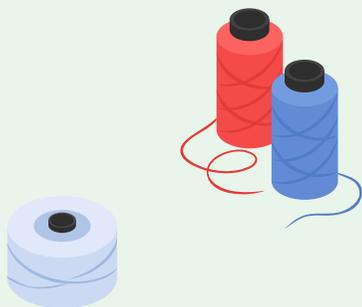
E-mail gomuiiri@po.incl.ne.jp

HP <https://www.incl.ne.jp/ishikawaew/>

石川県ゴム入組合



石川県ゴム入織物工業協同組合



世界でたったひとつの
繊維資材の一大産地が
ここにあります！

KAHOKU CITY
かほく市

